

使用上の注意改訂のお知らせ

2019年7月 (No.2019-4)

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

●劇薬、処方箋医薬品

セルトラリン錠 25mg「三和」

セルトラリン錠 50mg「三和」

セルトラリン錠 100mg「三和」

SERTRALINE

(塩酸セルトラリン錠)

製造販売元
株式会社 三和化学研究所
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631

この度、標記製品の「使用上の注意」を一部改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。つきましては改訂箇所を一覧に致しましたので、今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

今後とも弊社製品のご使用にあたって副作用・感染症等をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容(下線部:自主改訂)

改訂後			改訂前		
3. 相互作用 本剤は肝代謝酵素CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6及びCYP3A4等で代謝される。 (1)併用禁忌(併用しないこと)			3. 相互作用 本剤は肝代謝酵素CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6及びCYP3A4等で代謝される。 (1)併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MAO阻害剤 セレギリン 塩酸塩 エフピー ラサギリンメ シル酸塩 アジレクト	発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。	セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。	MAO阻害剤 セレギリン 塩酸塩 エフピー	発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。	セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。

2. 改訂理由

パーキンソン病治療剤(選択的MAO-B阻害剤)であるラサギリンメシル酸塩錠(販売名:アジレクト錠)の[相互作用]の[併用禁忌]の項に「塩酸セルトラリン」の記載があることから、本剤においても[相互作用]の[併用禁忌]の項に「ラサギリンメシル酸塩」を追記しました。

医薬品添付文書改訂情報は医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)並びに弊社ホームページ(<https://med.skk-net.com/>)に最新添付文書が掲載されます。あわせてご利用ください。

〔お問い合わせ先〕

株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター

電話0120-19-8130

受付時間:月～金曜日 9:00～17:00

(祝日及び弊社休業日を除く)

ホームページ <https://www.skk-net.com>